

I 調査結果の概要

1 生乳生産量と用途別処理量

(1) 生乳生産量

－ 生乳生産量は1.6%減少 －

生乳生産量は800万7,417 tで、前年に比べ13万95 t (1.6%)減少した。これは、平成18年に引き続き生乳の減産計画生産が実施されたこと等からである。

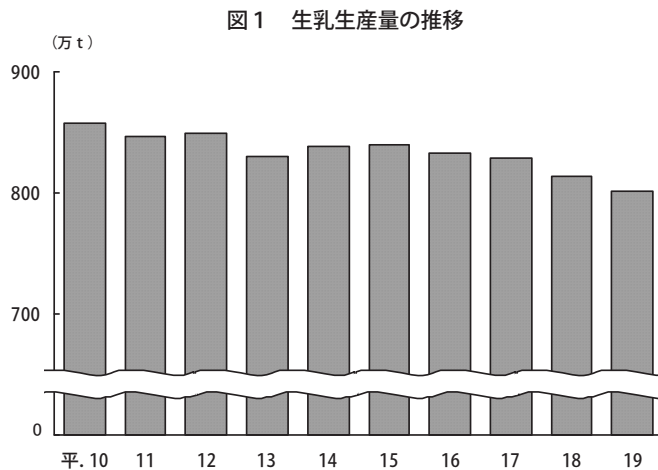
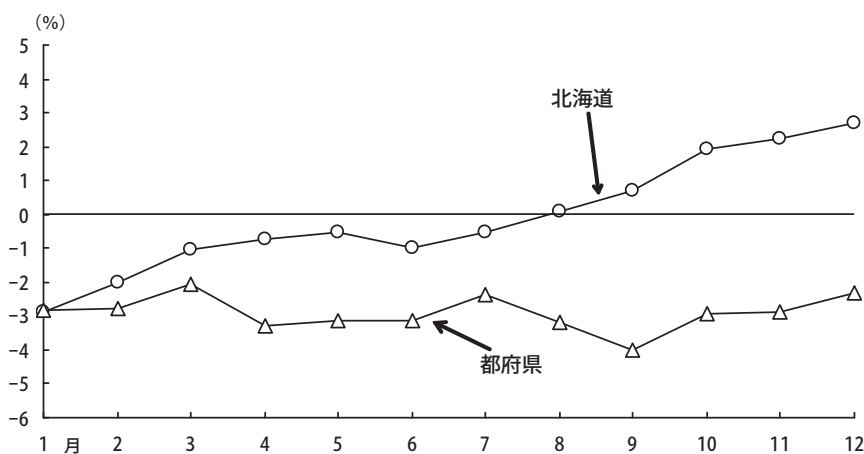


表1 生乳生産量

年次	実数(t)			対前年比(%)		
	生乳生産量	北海道	都府県	生乳生産量	北海道	都府県
平.19	8 007 417	3 794 892	4 212 525	98.4	99.9	97.1
18	8 137 512	3 799 121	4 338 391	98.2	98.4	98.1

図2 生乳生産量の前年同月に対する増減率(平成19年)



(2) 農業地域別生乳生産量

－ 北海道の生乳生産量シェアは47.4% －

農業地域別の生乳生産量をみると、北海道が379万4,892 t (全国に占める割合47.4%)で最も多く、次いで関東が123万2,730 t (同15.4%)、九州が75万7,918 t (同9.5%)の順となっている。

また、農業地域別に生乳生産量を5年前(平成14年)と比べると、北海道では増加しているが、その他の地域では減少している。

図3 農業地域別生乳生産量シェア

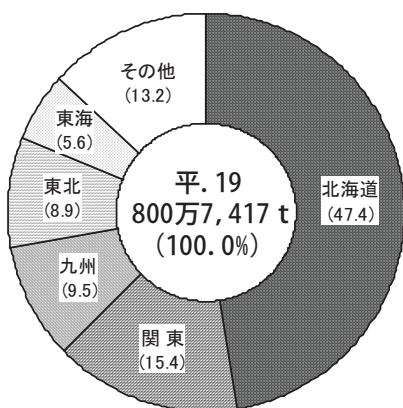
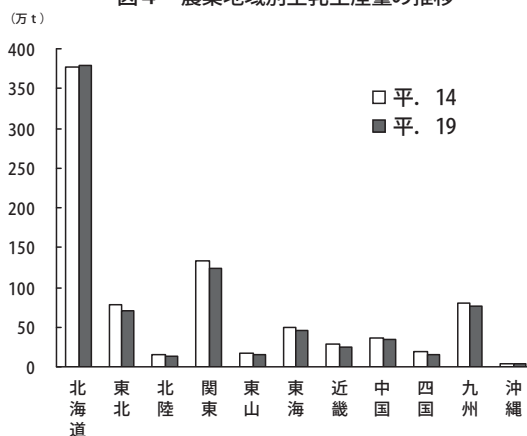


図4 農業地域別生乳生産量の推移



(3) 農業地域別生乳移出入量

農業地域別の生乳移出入量をみると、移入量よりも移出量が多いのは北海道、東北、九州の順に多く、移出量よりも移入量が多いのは関東、近畿、中国の順となっている。

図5 農業地域別生乳移出入量

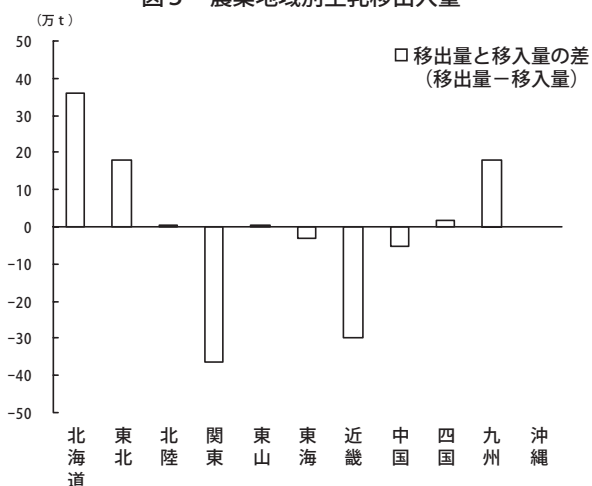


表2 農業地域別移出量と移入量の差

	北海道	東北	北陸	関東	東山	東海	近畿	中国	四国	九州	沖縄
移出量	363 502	323 619	32 558	691 767	47 487	106 365	131 826	91 827	50 483	403 812	781
移入量	3 341	145 129	27 376	1 054 054	44 384	134 989	432 146	143 801	32 947	225 377	483
移出量－移入量	360 161	178 490	5 182	-362 287	3 103	-28 624	-300 320	-51 974	17 536	178 435	298

単位：t

(4) 用途別処理量

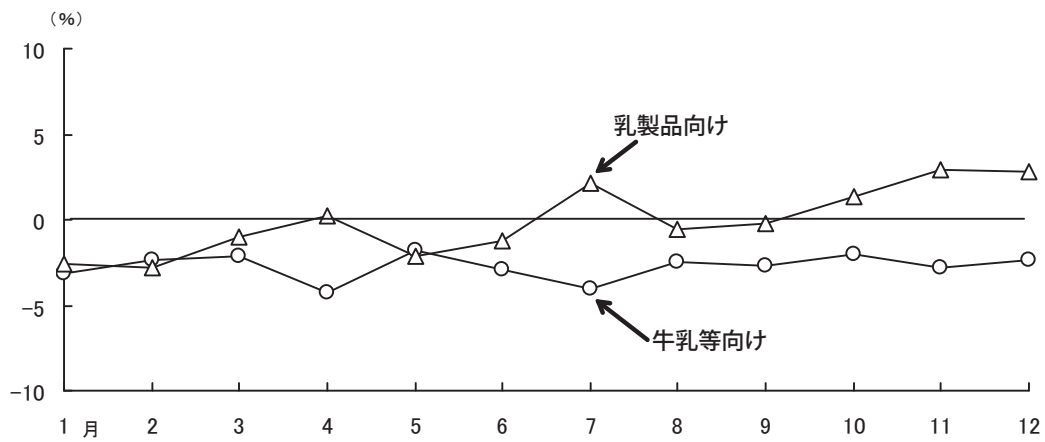
－ 牛乳等向け処理量は2.7%減少 －

生乳の用途別処理量をみると、牛乳等向け処理量は452万740 t、乳製品向け処理量は340万2,339 t で、前年に比べそれぞれ12万7,451 t (2.7%)、5,756 t (0.2%)減少した。

表3 生乳用途別処理量

年次	生乳生産量	用途別処理量			
		牛乳等向け	業務用向け	乳製品向け	その他向け
平.19	8 007 417	4 520 740	326 223	3 402 339	84 338
18	8 137 512	4 648 191	309 036	3 408 095	81 226
対前年比(%)	98.4	97.3	105.6	99.8	103.8

図6 生乳用途別処理量の前年同月に対する増減率(平成19年)



2 牛乳等生産量

(1) 飲用牛乳等生産量

— 牛乳生産量は3.0%減少 —

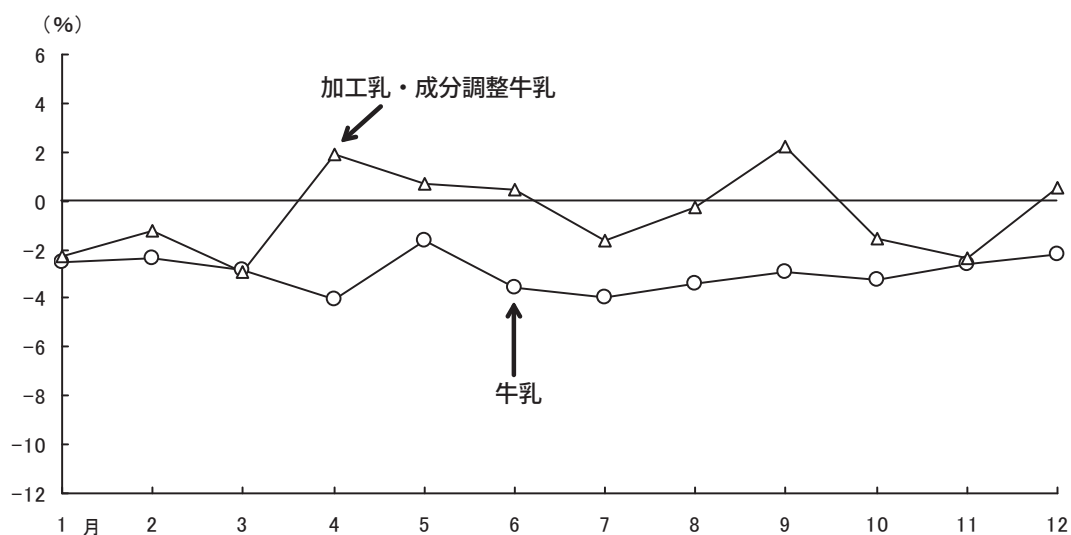
飲用牛乳等の生産量をみると、牛乳生産量は359万2,408k1、加工乳・成分調整牛乳生産量は44万6,197k1で、前年に比べそれぞれ10万9,366k1(3.0%)、2,401k1(0.5%)減少した。

表4 飲用牛乳等生産量

単位：k1

年次	飲用牛乳等					
	計	牛乳	業務用	加工乳・成分調整牛乳	業務用	成分調整牛乳
平.19	4 038 605	3 592 408	307 771	446 197	28 015	196 718
18	4 150 372	3 701 774	294 758	448 598	19 813	180 872
対前年比(%)	97.3	97.0	104.4	99.5	141.4	108.8

図7 飲用牛乳等生産量の前年同月に対する増減率(平成19年)

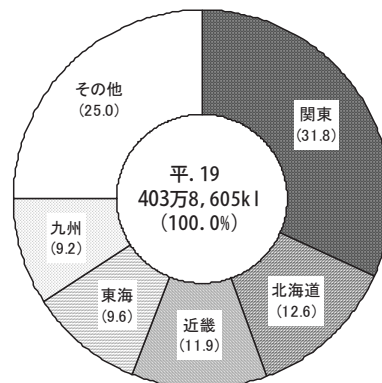


(2) 農業地域別飲用牛乳等生産量

－ 関東の飲用牛乳等生産量シェアは31.8% －

農業地域別の飲用牛乳等生産量をみると、関東が128万2,391k1(全国に占める割合31.8%)で最も多く、次いで北海道が50万7,682k1(同12.6%)、近畿が47万9,883k1(同11.9%)の順となっている。

図8 農業地域別飲用牛乳等生産量シェア



(3) 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

－ 乳飲料生産量は5.6%増加 －

乳飲料の生産量は131万2,075k1、はっ酵乳の生産量は84万4,343k1、乳酸菌飲料の生産量は17万2,770k1で前年に比べそれぞれ7万31k1(5.6%)、5,019k1(0.6%)、6,756k1(4.1%)増加した。

図9 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量の推移

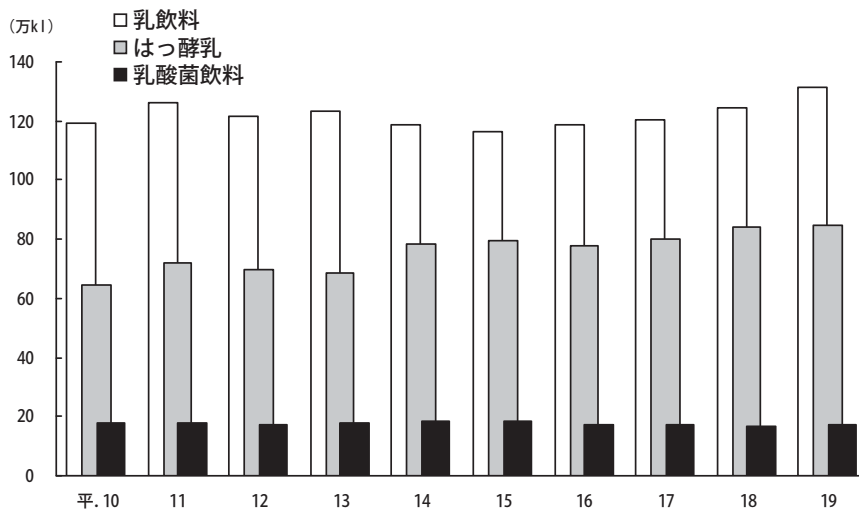


表5 乳飲料、はっ酵乳及び乳酸菌飲料生産量

年次	実数 (k1)			対前年比 (%)		
	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料	乳飲料	はっ酵乳	乳酸菌飲料
平.19	1 312 075	844 343	172 770	105.6	100.6	104.1
18	1 242 044	839 324	166 014	103.2	104.9	95.6

3 乳製品生産量

－ クリーム及びチーズは増加、バター及び脱脂粉乳は減少 －

主な乳製品の生産量をみると、クリームは10万3,109 t、チーズは12万5,392 tで、前年に比べそれぞれ7,542 t (7.9%)、506 t (0.4%)増加した。

一方、バターは7万5,058 t、脱脂粉乳は17万2,545 tで、前年に比べそれぞれ5,418 t (6.7%)、8,205 t (4.5%)減少した。

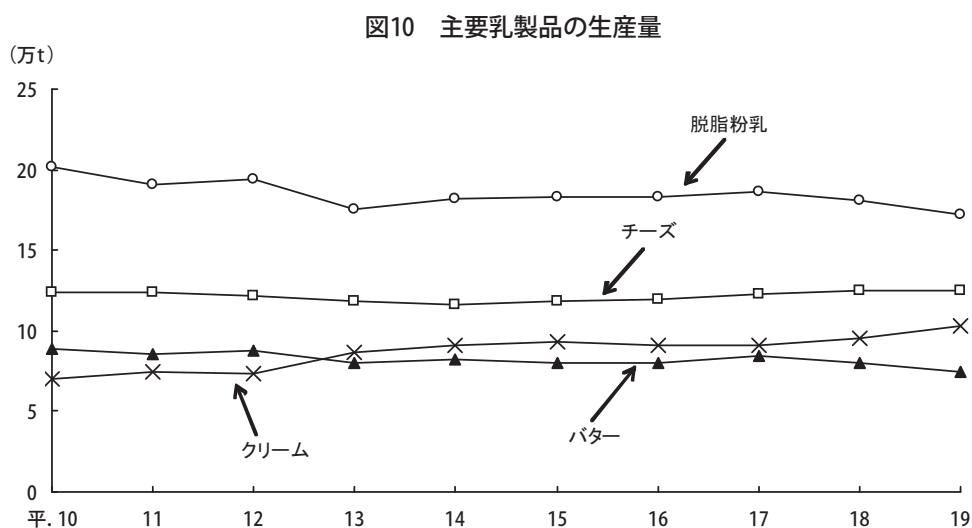


表6 乳製品生産量

単位：t

年次	全粉乳	脱脂粉乳	調整粉乳	バター	クリーム
平.19	14 027	172 545	30 039	75 058	103 109
18	13 794	180 750	31 189	80 476	95 567
対前年比(%)	101.7	95.5	96.3	93.3	107.9

表6 乳製品生産量

単位：t

年次	チーズ		加糖れん乳	無糖れん乳	脱脂加糖れん乳	アイス クリーム
	うち、 ナチュラルチーズ					
平.19	125 392	17 486	37 458	1 041	6 349	134 035
18	124 886	15 770	34 384	1 137	5 961	128 585
対前年比(%)	100.4	110.9	108.9	91.6	106.5	104.2

kt

4 牛乳処理場及び乳製品工場数

(1) 処理場・工場数

－ 処理場・工場数は699工場で、前年に比べ40工場減少 －

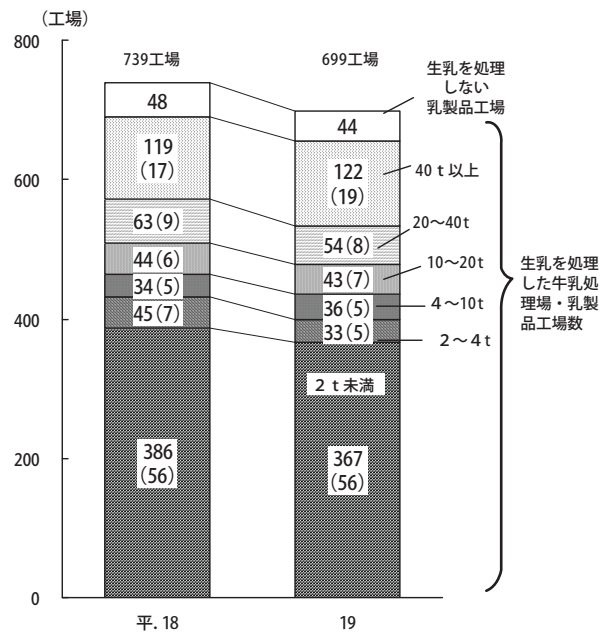
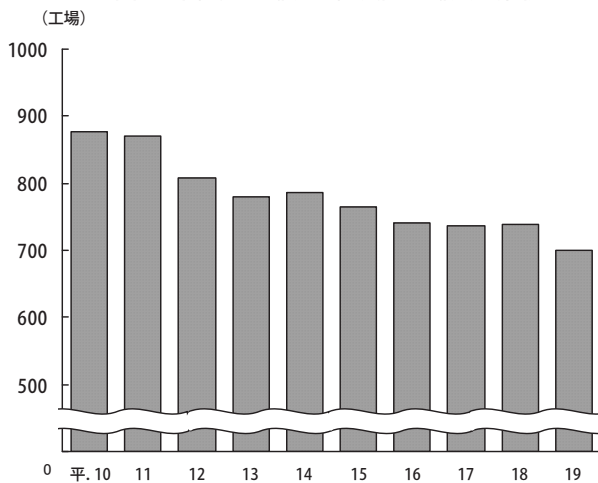
平成19年12月末日現在の牛乳処理場及び乳製品工場数は699工場で、前年に比べ40工場減少した。

また、平成19年12月の1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数をみると、40t以上が122工場で、前年に比べ3工場増加した。一方、2t未満が367工場で、前年に比べ19工場減少した。

なお、生乳を処理した処理場・工場のうち、2t未満の階層が最も多く全体の56% (367工場)を占めている。

図12 12月の1日当たり生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数 (12月31日現在)

図11 牛乳処理場及び乳製品工場数の推移



注：()内は、生乳を処理した牛乳処理場・乳製品工場数を100とした生乳処理量規模別の牛乳処理場・乳製品工場数割合

表7 全国の牛乳処理場・乳製品工場数

単位：工場

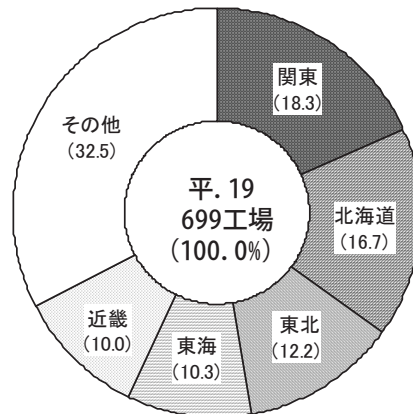
区分	計	経営組織別			12月の生乳処理量規模(1日当たり)							
		会社	農業協同組合	個人その他	2t未満	2~4	4~10	10~20	20~40	40t以上	生乳を処理しない乳製品工場	
平.19	699	478	55	166	367	33	36	43	54	122	44	
18	739	490	58	191	386	45	34	44	63	119	48	
対前年差	△ 40	△ 12	△ 3	△ 25	△ 19	△ 12	2	△ 1	△ 9	3	△ 4	

(2) 農業地域別処理場・工場数

－ 関東の処理場・工場シェアは18.3% －

農業地域別の処理場・工場数をみると、関東が128工場(全国に占める割合18.3%)で最も多く、次いで北海道が117工場(同16.7%)、東北が85工場(同12.2%)の順となっている。

図13 農業地域別処理場・工場シェア



(3) 製造品目別処理場・工場数

－ 牛乳を製造した工場が27工場減少 －

製造品目別の処理場・工場数をみると、牛乳を製造した工場は532工場、加工乳・成分調整牛乳を製造した工場は177工場、乳飲料を製造した工場は307工場、前年に比べそれぞれ27工場、14工場、11工場減少した。

また、乳製品を製造した工場のうち、クリームを製造した工場及びれん乳を製造した工場を除き全ての工場において、前年に比べ減少した。

表8 飲用牛乳等、乳飲料及び乳製品を製造した工場数（平成19年1月～12月）

区分	飲用牛乳等		乳飲料	粉乳	バター	クリーム	チーズ	れん乳	乳脂肪分8%以上のアイスクリーム
	牛乳	加工乳・成分調整牛乳							
平. 19	532	177	307	58	69	80	137	48	133
18	559	191	318	59	71	78	139	48	142
対前年差	△ 27	△ 14	△ 11	△ 1	△ 2	2	△ 2	0	△ 9

注：「粉乳」は、全粉乳、調製粉乳及び脱脂粉乳を製造した延べ工場数であり、「れん乳」は、加糖れん乳、無糖れん乳及び脱脂加糖れん乳を製造した延べ工場数である。